

学校だより

小川中学校

No. 1 7

平成26年 9月26日

文責：校長 佐藤正則

1日体験活動実施 3年生職場体験 2年班別研修 1年職場訪問

9月18日（木）は、全学年1日活動の日でした。

1年生は、「小川町の未来を創造しよう」というテーマで、小川支所やいわき税務署など、小川町に関わりのある町内外の11の職場を訪問、様々な疑問を質問し、勉強してきました。

2年生は、「会津の歴史を楽しく学ぼう」をテーマに、会津若松市を訪ね、班ごとに活動して、今まで以上に会津の歴史に触れてきました。今回特に重視したのが、時間を守ることに、班行動の仕方です。どちらも来年の修学旅行につながっていきますが、今回、どちらもよくできました。

3年生は、「自分の将来を考えよう」をテーマに、1日職場体験です。市内20の職場で働かせていただきました。憧れや興味のある職業を中心に選び、生徒たちが電話でアポイントメントをとって、これまで準備してきました。

どの職場でも、戸惑いながらも、生徒たちは一生懸命働いてきました。今、進路選択の入り口に立っている3年生にとって、とても貴重な体験でした。1年生、3年生の体験活動で、生徒たちに貴重な機会を提供していただいた企業、職場の皆さんに感謝申し上げます。



いわき税務署で勉強する1年生

3年生の職場体験の様子です！



盲導犬ってすごい！

盲導犬実演と体験学習

9月19日（金）の5、6校時に、本校体育館で行いました。盲導犬や介助犬の役割を学び、目の不自由な人への接し方の勉強をしました。

ご指導いただいたのは、仙台市にある盲導犬協会訓練センターの齊藤インストラクターとPR犬のヴェラ、市内に住んでいる盲導犬ユーザーの鈴木さんと盲導犬タックです。

目の不自由な人が、町中を行動する3種類の方法について、実体験しました。他の人による「手引き」、「白杖」を使っての歩行、「盲導犬」による誘導の3つですが、長所も短所もあります。それらを理解しておくことで、はじめて正しい接し方ができることを学びました。最近、盲導犬や白杖をめぐる事件が世間を騒がせています。とても残念なことです。

「みんなちがってみんないい」と童謡詩人のみすずさんはいいました。十人十色というように、人にはみんな違いがあります。通常、その違いを認め、受け入れたり譲り合ったり、助け合ったりして生活しています。これが共生を大切にしてきた日本です。その違いには、いわゆる障害も含まれます。しかし、豊かになるにつれ、自分中心の考え方や行動が横行し、悲しい事件が増えてきました。小川の子どもたちは、そんなふうには絶対育ってほしくないと、強く思っています。



夏休み中に、いわき市内のNPO法人、ザ・ピープル主催による5泊6日の「水俣に学びいわきの未来を創るプロジェクト」水俣研修ツアーに、本校から2人の生徒が参加しました。次は、参加しての感想です。いろいろなことを学んできたようです。

水俣研修に参加して

2年 草野拓巳

熊本水俣研修ツアーに参加して心に残ったことを二つ紹介します。

一つは、有明海での交流会です。交流会では、熊本のいいところやクマモンダンスで歓迎され、こちらは福島の実況について伝えました。

班に分かれて、それぞれが震災後の暗い話から福島の美味しい食べ物について、話術を駆使して紹介しました。体育館内のムードが明るくなり、福島のイメージアップが図れたのが良かったです。

二つ目は、リサイクルについてです。水俣市にはリユースビンが出回っています。このビンが流通している理由は、水俣病が起きてから公害問題と向き合っているからです。これを扱っている工場では、ビンを砕いて歩道の舗装に使ったり、ビンを融かしてペン立てを製作したりしていて、将来的にはゴミをゼロにする方針だそうです。

今回水俣研修の目的は「いわきの未来を創る」で、そのためのヒントをいくつか得られたので、事後研修でもっと内容を深めて、より良いいわきにしていきたいです。



水俣研修に参加して

2年 添田友貴

今夏の研修に参加して、僕自身が変わりました。それが一番大きかったと思います。

まず、行動が変わりました。今までの自分は結構控えめなところがありましたが、この時のミーティングでたくさん発言することができました。これからは心がけたいと思います。

また、態度が変わりました。水俣病という事実を聞くときは、真剣に聞くことができよかったです。今後も、人の話を聞く時は、真剣に聞くようにしたいと思います。

このようになれたのは、研修に参加できたからです。今回の水俣で学んだことをこれからも生かしていきたいと思っています。